

あこう屋(のたより)

11月



発行責任者
西川 晃二

【校長室より】

「地域の活性化」

11月22日 新上五島町有川郷にて五島地区公立高等学校PTA研修会がありました。本校(全・定)からも保護者、教職員合わせて約40名が参加しました。朝出発、夕方帰島のスケジュールでしたが、出席いただいた保護者の皆様方におかれましては大変お疲れ様でした。解散式では十分に感謝の意を尽くせず失礼しました。

私にとっては、数回の上五島経験(いずれも一日旅程)でありましたが、今回は研修会前日からの上五島入りであり、青方から有川への道をたどったせいか、上五島と下五島の微妙な違いに気づかされた旅でした。下五島はどちらかという福江への一極集中、新上五島は分散化、ではないかな?と思った次第です。さらに思うに、上下五島の旧町のあり方が今の結果となったのだろうかなどと、つらつら想像していたところです。「五島はひとつ」の合い言葉のもと上下の五島民が一堂に会しての研修会。「ひとつ」の意識を持ちながらも、違いも十分に認識しての両者の研修会は大変有意義であったかと思いました。

さて、講演は遠田公夫さんでした。佐世保のセントラルホテルの元経営者。現在は経営コンサルタント会社経営。北海道生まれながら、最西端の長崎県に(俗にいう)1ターン組であり、今ではどっぷりと佐世保につきり、佐世保の活性化推進の原動力となっている人物です。一言で言うと「組織が輝くには、まず人が輝かねばならない。そして、人を輝かせるためには、どうすればいいか」というお話でした。具体的かつユーモアとペーソスにあふれたご講演であり、聴衆の耳目を決して離さぬ見事な講演でした。

先月31日に、人生の達人セミナーに同じく佐世保人、竹本慶三氏をお呼びしました。彼の紹介については今月号に記載の通りです。彼のお話では、「人をどのように集めるか。活性化は人集めからだ。そのために次から次へイベント攻勢をかける」と、地域活性化のヒントを与えてくれました。遠田氏と竹本氏は、ともがっちり手を組んで、佐世保の活性化を突き進めています。保護者、そして生徒、教職員ともに地域、組織の活性化のヒントに近づく機会を得たこととなります。

2年前の平成25年2月、五島市でロータリークラブの総会がありました。その際に少しばかりお話しさせていただく機会がありました。そのときの原稿を転載させていただきます。福江島3高校の活動発表後の所感の一部です。

..... 五島海陽高校はデュアルシステムの実施校として着実な実績を上げている高校です。デュアルシステムとは、生徒からの説明にあったように、「企業実習」と「学校での授業」を並行して行う学習形態です。その学習を通して、地域の活性化を図るために、自分が住む五島を再確認、再認識したという発表でした。25年ほど前に時の竹下総理の主導で、「ふるさと創生事業」というものがありました。何に使ってもいいと市町村単位で一億円の大盤振る舞いをしました。果たしてどれだけ経済効果、活性化がなされたか、はなはなだ不確かではありますが、地方の沈滞が、国家そのものの弱体化を招くという事実は確かです。そうした中、五島の高校生が意識をもって、学習に、経済に、直接タッチしているということは非常に評価に値することと、他校のことながら応援のエールを送りたいと思っています。

(中 略)

みこはら

神子原という石川県の限界集落を再生した高野誠鮮という人がいます。ローマ法王にお米を進呈し、「神の子の原っぱ」神子原米のブランド化を果たした石川県羽咋市役所の職員です。その方が、「致知」という雑誌で述べていた内容を紹介し、私の所感の最後と致します。

「地域はお金がないから疲弊するんじゃないんです。何もしないから疲弊するのです。人間の集まりが地域ですから、私は人間のメカニズムと同じだと考えています。地方の山間部の疲弊した地域はがりがりにやせた手と一緒にです。そこに輸血して、必要以上に血液が流れ込んだら壊死します。じゃどうするか。リハビリ運動しかないんです。自分で行動するしかないんです。

この人体が拡大したのが地域社会であり、地域社会が拡大したのが日本だとすれば、答えは自ずから見えてきます。疲弊した地域はとにかく行動して、自分たちで持続的に栄養を運んでくる。これしかない。」

つまり、補助金付けに慣れてしまわず、真の意味での地域創生、ふるさと創生に努めなければいけないということと私は読みとりました。これはとりもなおさず長崎県の、そして、九州の、さらには日本のこれから進むべき道を指し示しているのではないかと思います。五島から長崎を、日本を、そして世界をリードする生徒たちが巣立ち行くことを期待したいと思います。

奇しくも、安倍政権は地方創生を掲げて経済再生を図ろうとしています。地方の創成なくしては日本の未来もないと誰しも認めているとは思いますが。要はその手段です。人がいない。いないのは仕事がないから。だとしたら人を呼ばないといけない。仕事がないなら作ればいけない。「言うは易く、行うは難し」ではありますが……。

明日、明後日と五島市役所にて長崎県産業振興財団が企業家大学(要予約 定員30名)を開催します。ご興味があれば顔を出してみたいでしょうか。

准看護師資格試験100日前集会

11月12日(水)に准看護師資格試験100日前集会が開催され、3年7組17名に対し、数々の激励の言葉が寄せられました。

学年主任の宗田先生からは、ご自身の入院経験を踏まえ看護師には「心・技・体」が必要であり、また准看護師資格試験を受験する今の3年生には、「心・技・体に加え智(力)が重要になってくる。」というお言葉をいただきました。

在校生である1年崎濱駿くん・2年川末桃花さんからは、受験や資格試験に向けたエールをいただきました。そして生徒代表の鶴瀬史織さん・大松美乃さんからは、「多くの方々への感謝の気持ちを忘れず、17名全員合格するよう努力します。そして、先輩方が繋いできた伝統を引き継ぎ、10年連続准看資格試験全員合格を成し遂げます。」という決意表明がありました。

最後は、作田未瑠さんが代表として指揮をとり今後の健勝を祈って全員で一丁締めを行い、会場全体に皆の決意が広がった集会となりました。

努力は報われる— そう信じて、みんなで頑張ります。



生徒代表の大松さんと鶴瀬さん

高大連携事業 11月7日(金)

11月7日、2年生普通科理系コース生徒を対象に、長崎大学大学院工学研究科の藤山寛先生、同医歯薬学総合研究科の村田比呂司先生をお招きし、高大連携講座を開催いたしました。物理選択者は「エネルギーと環境」というテーマの下、エネルギーの基礎知識から現状の発電システムから未来の再生可能エネルギーまでわかりやすい解説をしていただきました。生物選択者は「歯とお口の健康」というテーマの下、虫歯のメカニズムや歯科治療が実際にどのように行われるかなどの身近な健康問題について学ぶとともに、虫歯のなりやすさを予測する検査も実施していただきました。どちらの講座でも生徒からの質問に丁寧に答えていただき、充実した時間を過ごすことができましたようです。



講義中の様子

長崎県高総体駅伝競技(11月5日)

11月5日(水)秋晴れの中、雲仙市小浜町を発着点とする雲仙小浜マラソンコースにおいて長崎県高等学校駅伝競走大会が開催されました。男子が7区間42.195km、女子が5区間21.0975kmを走り抜き、師走に京都で行われる都大路を目指して競い合いました。朝10時に女子がスタート。2年生を主体とするメンバーで粘りのある走りを見せ、昨年の順位22位から15位へと順位を上げることが出来ました。男子は昼12時20分スタート。1区の2年生松本君の快走とチーム全体の襷をつなげる思いにより昨年の33位から19位へと一気に順位をあげることが出来ました。

昨年の記録から男女共に大躍進の結果で幕を閉じることができたので、2月に行われる長崎県新人駅伝に向けて今回の経験を自信につなげて欲しいと思います。

—結果—

女子総合22位→15位(1時間27分13秒→1時間24分57秒)

男子総合33位→19位(2時間32分46秒→2時間28分24秒)

心に響く人生の達人セミナー

長崎県観光マイスターの竹本慶三氏を講師としてお迎えしました。「まちを元気にする」と題して、竹本氏がこれまで発起人として手がけた佐世保YOSAKOI祭りやきらきらフェスティバルなどの話をいただきました。全国を飛び回り、面白いと思ったものは何でも取り入れ実行していくバイタリティに圧倒された1時間でした。幅広い見識と経験に基づいた熱意のあるお話に、「商店街に対する考えが変わった」「失敗することを恐れては何もできないことがわかった」「将来長崎や五島の「町おこし」ができるように今はたくさん勉強する」というような生徒の感想が寄せられました。また、講演会の後はワークショップ（希望者約30名の参加）で「五島の町おこし」について一緒に考えていただきました。



講演中の竹本慶三氏

地域清掃 10月31日(金)



去る10月31日(金)、ボランティア活動の一環として、本校1・2年生及び教職員で、日頃お世話になっている五島市のアーケードを中心に清掃活動を行いました。普段歩き慣れた道も注意深く見てみると、空き缶やたばこの吸い殻などがたくさん落ちており、短時間で多くのごみを回収することができました。この活動を通して生徒たちの地域に対する感謝の意を表すとともに、郷土を愛する心も高まったものと思います。

スクールカウンセラー講演会 11月14日(金)

11月14日(金)7校時目に本校スクールカウンセラーで臨床心理士の山野有希先生による「スクールカウンセラーによる講演会」が行われました。今年の演題は「自分の気持ちをきちんと伝える」で、相手とのコミュニケーションの上手な取り方やアサーションの考え方などを学ぶことができました。また、講演の最後には簡単なストレス解消法を教えてくださいました。講演後の感想文の中にも「ストレスがたまっているときはぜひやってみよう」という声がありました。ご家庭でもぜひお試しください。

【ある生徒の感想文】

私はもうすぐ大学の推薦入試があり、面接試験があります。今回の講演のおかげで面接に対する考え方が少し変わりました。面接ではどれだけ自分を表現し、相手に正確に伝えるかが重要となります。…(中略)、「私は」を主語にして文章を作るとはとても自分ためになりました。なぜなら、実際に作ってみると、自分の気持ち、相手にしてほしいこと、自分がしたいことが明確になったからです…(以下略)。



山野有希先生

人権教育 (11月18日)



講演中の道津先生

11月18日(火)に全校生徒で人権学習集会を行いました。今年度は、新上五島町立魚目小学校の道津喜八郎先生に「人権のまちづくり」と題して就職差別・結婚差別についてご講演いただきました。ワークシートを使って、「人権」「差別」を身近に感じながら、私たち自身が考えながら学ぶことができました。『これから、差別などを目にしたときに、はっきりと正すことができるようになるためにも、今から「人権」について深く考える必要があると感じた。』と生徒より感想が聞かれました。

五島地区公立高等学校PTA研修会(11月22日)

11月22日(土)に新上五島町にある鯨賓館ミュージアムホールにおいて、五島地区公立高等学校PTA研修会が実施されました。はじめに、各校の前会長様に感謝状と記念品の贈呈が行われました。次に、とおだ&ソリューション合同会社代表である遠田公夫先生から『子ども達にスポットライトを!』と題してご講演いただき、先生の今までのご経験から、子ども達を輝かせるにはどうしたらよいかについて教えていただきました。最後に、奈留高校の松竹健次会長より、奈留高校におけるPTA活動について紹介いただき、活発な質疑応答が行われました。大変有意義な研修となりました。本校からも朝早くから、たくさんの保護者の方にご参加いただきました。本当にありがとうございました。

☆各作品展(県写真展、県高校美術展) in 長崎県美術館☆

私たち写真部は生活の中の一瞬を多くの人に伝えるため、たくさんの写真を撮ってきました。何気なく過ごしている時間の中にも、そのときしか見られない瞬間があります。その一瞬をどうしたらうまく伝えられるのか、その一瞬から何を伝えたいのか、それはそれぞれ違います。様々な視点で切り取った一瞬を、10枚の作品として県総文写真展に出展しています。一枚でも多くの作品が入賞し、それぞれの想いを伝えてほしいと思います。

写真部

高校美術展が目前に迫りました。今年の美術部は昨年よりも部員が増え、一人一人が一生懸命制作に励んでいます。出品はほとんどが油絵で、1年生にとっては初めての経験です。分からないことが多く、試行錯誤を繰り返しながらの制作は大変です。しかし、自分にできることを考え、完成に向けて頑張っています。

過去の先輩に恥じない結果を残し、堂々と五島に帰って来られるよう、最後まで自分の作品に向き合おうと思います。

美術部

県新人戦結果報告

柔道部(11/15,16 県立武道館)

男子団体 ベスト8

男子個人 100kg超級 第2位 戸野本幸輝
(九州大会出場)

100kg以下級 第2位 夏井滉介
(九州大会出場)

女子個人 52kg以下級 第3位 大島瑠莉
松野京香

48kg以下級 第3位 磯沖晴香



剣道部(11/15,16 長崎東高校体育館)

男子個人 ベスト16 都々木盛人

女子個人 ベスト8 與田瑞希(九州大会出場)

ベスト16 内海菜緒



バドミントン部

男子団体 第3位(九州大会出場)

女子団体 1回戦

男子ダブルス 久保・小田 ベスト16

中村・釘本 ベスト16

シングルス 釘本 ベスト16



ソフトテニス部

男子団体 1回戦 豊玉 3-0 ○

2回戦 鹿工 0-3 ●

男子個人 松本・竹山 ベスト32

女子団体 1回戦 松浦 3-0 ○

2回戦 佐商 1-2 ●

女子個人 今村・夏井 ベスト32



各種大会結果報告

<バスケットボールウィンターカップ長崎県予選>

男子 1回戦 長崎工業 74-102 ●

女子 1回戦 長崎明誠 67-71 ●



<春高バレー長崎県予選>

男子 1回戦 大村 0-2 ●

女子 1回戦 上対馬 2-1 ○

2回戦 向陽 0-2 ●

<長崎地区新人戦>

バスケットボール部

男子 1回戦 長崎明誠 93-66 ○

2回戦 海星 87-96 ●

女子 1回戦 活水 103-33 ○

2回戦 長崎女子 62-64 ●



バレーボール部

男子 予選 総大附 0-2 ●

瓊浦 0-2 ●

トーナメント1回戦 北陽台 2-0 ○

2回戦 南山 0-2 ●

女子 予選 長女商 0-2 ●

長崎北 0-2 ●

<平成26年度「税に関する高校生の作文」>

・長崎県租税教育推進協議会代表幹事賞

1年 佐々野 真希

・福江税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞

1年 川元 理央